

令和 6 年度

印西地区消防組合一般会計  
歳入歳出決算審査意見書

印西地区消防組合監査委員

# 令和 6 年度印西地区消防組合一般会計歳入歳出決算意見

## 第 1 審査の概要

### 1 審査の対象

令和 6 年度印西地区消防組合一般会計歳入歳出決算

### 2 審査の期日

令和 7 年 8 月 8 日（金）

### 3 審査の方法

令和 6 年度印西地区消防組合一般会計歳入歳出決算の審査にあたっては、決算書、事項別明細書及び実質収支に関する調書並びに財産に関する調書などに基づき、計数の正否、予算執行の適否について、地方自治法第 2 条第 14 項及び第 15 項、地方財政法第 4 条の規定の主旨にそって実施されたか否かについて、関係諸帳簿及び証書類を照合するとともに関係職員から説明を聴取し、例月出納検査及び定期監査の結果を参考にして慎重に審査を行った。

## 第 2 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書及びその他政令で定める書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿及び証書類を照合して審査を行った結果、計数に誤りがなく、予算の執行についてもその目的に沿って適正に執行されているものと認められた。

### 1 総論

令和 6 年度の決算額は、次のとおりであった。

歳入 34 億 6,845 万 7,261 円

歳出 34 億 0,710 万 5,535 円

歳入歳出差引額 6,135 万 1,726 円

#### (1) 決算収支の状況

決算収支の状況をみると、歳入総額は前年度と比較して 2 億 2,172 万 9,615 円増加し、歳出総額は、2 億 3,231 万 9,171 円増加している。

単位：円

	令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	増減 (A-B)	対前年度比
歳 入	3,468,457,261	3,246,727,646	221,729,615	6.8%
歳 出	3,407,105,535	3,174,786,364	232,319,171	7.3%

## (2)予算の執行状況

令和6年度は、当初予算額34億3,806万8,000円から3,706万5,000円を増額補正し、予算現額は34億7,513万3,000円となっている。

これに対して、収入済額は34億6,845万7,261円、支出済額は34億710万5,535円で、差し引いた収支は6,135万1,726円となった。

## 2 歳入歳出決算

### (1)歳入

令和6年度の決算額は、予算現額34億7,513万3,000円に対し、調定額、収入済額とも34億6,845万7,261円で、不納欠損額、収入未済額はなかった。

単位：円

款	令和6年度		令和5年度		比較(A-B)
	決算額(A)	構成比	決算額(B)	構成比	
1 分担金及び負担金	3,137,357,957	90.4%	2,989,569,248	92.1%	147,788,709
2 使用料及び手数料	5,497,460	0.1%	4,099,088	0.1%	1,398,372
3 国庫支出金	46,062,000	1.3%	14,525,000	0.5%	31,537,000
4 県支出金	1,470,000	0.1%	0	0.0%	1,470,000
5 財産収入	2,155,250	0.1%	4,468,850	0.1%	△ 2,313,600
6 繰越金	71,941,282	2.1%	101,479,807	3.1%	△ 29,538,525
7 諸収入	3,673,312	0.1%	49,485,653	1.5%	△ 45,812,341
8 組合債	200,300,000	5.8%	83,100,000	2.6%	117,200,000
歳入合計	3,468,457,261	100.0%	3,246,727,646	100.0%	221,729,615

### 1款 分担金及び負担金

調定額、収入済額とも31億3,735万7,957円で、予算現額31億3,735万7,000円となっている。

これは、印西地区消防組合規約により定められた構成市からの分担金であり、当消防組合の主たる財源である。対前年度比で増の主な要因は、千葉県市町村総合事務組合負担金の増によるものである。

### 2款 使用料及び手数料

調定額、収入済額とも549万7,460円で、予算現額330万6,000円に対して219万1,460円の収入増となっている。

使用料は、行政財産目的外使用料として、自動販売機及び気象観測器の設置などに係る収入であり、手数料は、危険物施設の許認可申請や検査手数料、その他、諸証明手数料に係る収入である。対前年度比で増の主な要因は、危険物規制事務関係手数料の件数の増によるものである。

### 3 款 国庫支出金

調定額、収入済額とも 4,606 万 2,000 円で、予算現額 4,606 万 2,000 円と同額である。

これは、救助工作車の更新整備に緊急消防援助隊設備整備費補助金を活用したことによるものである。

### 4 款 県支出金

調定額、収入済額とも 147 万円で、予算現額 147 万円と同額である。

これは、救助工作車の更新整備に消防防災施設強化事業補助金を活用したことによるものである。

### 5 款 財産収入

調定額、収入済額とも 215 万 5,250 円で、予算現額 215 万 5,000 円に対して 250 円の収入増となっている。

これは、更新整備に伴う水槽付消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車の売り払いである。対前年度比で減の主な要因は、売り払い車両数の減によるものである。

### 6 款 繰越金

調定額、収入済額とも 7,194 万 1,282 円で、予算現額 7,194 万 2,000 円に対して 718 円の収入減となっている。

これは、令和 5 度実質収支額である。対前年度比で減の主な要因は、令和 5 度実質収支額の減によるものである。

### 7 款 諸収入

調定額、収入済額とも 367 万 3,312 円で、予算現額 364 万 1,000 円に対して 3 万 2,312 円の収入増となっている。

これは、主に生命保険料等徴収代行手数料等の諸収入である。対前年度比で減の主な要因は、退職手当の支給事務に要する一般負担金の還付終了によるものである。

### 8 款 組合債

調定額、収入済額とも 2 億 30 万円で、予算現額は 2 億 920 万円との差額 890 万円については、千葉県防災無線再整備負担金の繰越明許費設定事業であるため、令和 7 年度に借り入れを予定している。

今年度は、消防車両更新整備及び指令システム全体更新事業負担金に係る借入額によるものである。

## (2)歳出

令和6年度の決算額は、34億710万5,535円であり、予算現額34億7,513万3,000円となっている。

翌年度繰越額は895万9,000円、不用額は5,906万8,465円となっている。

単位：円

款	令和6年度		令和5年度		比較(A-B)
	決算額(A)	構成比	決算額(B)	構成比	
1 議会費	1,312,660	0.0%	1,317,699	0.0%	△ 5,039
2 総務費	205,883	0.0%	204,841	0.0%	1,042
3 消防費	3,097,488,981	90.9%	2,817,415,190	88.8%	280,073,791
4 公債費	308,098,011	9.1%	355,848,634	11.2%	△ 47,750,623
5 予備費	—	—	—	—	—
歳出合計	3,407,105,535	100.0%	3,174,786,364	100.0%	232,319,171

### 1款 議会費

支出済額は、131万2,660円で、予算現額219万6,000円に対して不用額は88万3,340円である。

不用額は、会議録作成業務委託料の執行残が主なものである。

### 2款 総務費

支出済額は、20万5,883円で、予算現額31万6,000円に対して不用額は11万117円である。

不用額は、行政不服審査会委員報酬に係る、支出該当事案がなかったことが主なものである。

### 3款 消防費

支出済額は、30億9,748万8,981円で、予算現額31億4,764万5,458円、繰越明許費895万9,000円に対して不用額は4,119万7,477円である。

消防費は、職員人件費のほか各種事務事業を実施し、消防業務を遂行するための経費であり、歳出全体の大部分を占める。

主な不用額は、人件費関係が当初の見込みを下回ったこと及び各種契約関係の執行残によるものである。

なお、令和6年度の主な事業及び経費は次のとおりである。

① 消防施設等総合管理計画作成業務委託	1,042万8千円
② 屈折はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール	3,683万7千円
③ 救助工作車更新整備事業	1億8,524万円
④ 高規格救急自動車更新整備事業	3,758万7千円
⑤ 指揮車更新整備事業	548万8千円
⑥ 指令システム全体更新事業負担金	5,986万円
⑦ 千葉県防災行政無線再整備負担金（繰越明許）	895万9千円

#### 4款 公債費

支出済額は3億809万8,011円で、予算現額3億810万2,000円に対して、不用額は3,989円である。

単位：円

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	対前年度比	
				令和6年度	令和5年度
元 金	303,889,092	350,308,369	329,443,116	△13.3%	6.3%
利 子	4,208,919	5,540,265	7,070,097	△24.1%	△21.6%

#### 5款 予備費

予備費は、退職者の補充で採用した職員被服の消耗品費91万5,618円、防火衣の備品購入費で84万840円、緊急消防援助隊の活動に要する食糧費で60万円、訴訟に要する着手金77万円を充当したことで予算現額及び不用額は1,687万3,542円である。

### 3 まとめ

- (1)令和6年度の歳入歳出決算は、歳入決算額34億6,845万7,261円、歳出決算額34億710万5,535円、翌年度繰越額5万9,000円、歳入歳出差引額6,135万1,726円となり、実質収支額も、6,129万2,726円となっている。
- (2)組合予算は歳出額に対し、分担金を求める編成方法を採用しており、歳入歳出決算額の前年度比増減は、歳入は、6.8%、歳出は、7.3%の増である。
- (3)性質別歳出決算をみると経常的経費は、31億3,658万6,000円となり、前年度に対し3.8%の増で、主な要因は、千葉県市町村総合事務

組合負担金の増及び屈折はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール事業によるものです。

(4)投資的経費は、2億7,051万9,000円となり、前年度に比べ75.8%の増となった。主な要因としては、白井消防署の救助工作車更新整備事業によるものです。

(5)事務事業の執行には、効率的運用の努力が認められる一方、近年の台風、集中豪雨による自然災害の多発などに対応する為、より一層の計画的な対策と消防力の強化が求められている。

消防力の強化には、適正な人員の確保及び車両の更新整備を含む施設整備事業が必要であり、多額の経費を要することが想定される。

しかしながら、分担金を負担する構成市においては、厳しい財政運営を余儀なくされる状況にあることから、より一層の経費節減と効率的運用を図り、住民の安全と安心を目指した消防体制の強化と向上を望むものである。